

ざいじゆうがいこくじん かた
在住外国人の方のための
VIVA! ひめじ

<日本語版> 2003.9月 No.6

発行(財)姫路市国際交流協会
情報誌作成ボランティア

URL <http://www.himeji-iec.or.jp>

P1 <People> Eyko Ohata さん
P2,P3 国際交流フェスティバル
P4,P5 公営住宅
P6 お知らせ



<PEOPLE > EYKO OHATA 子供たちとともに

シリーズでお届けしている People に、今回ご登場いただくのは、大畑えい子さんです。大畑さんは、ブラジルのサンパウロ州プレジデnte・エピタシオ市のご出身です。彼女のおじいさん・おばあさんは新天地ブラジルへコーヒーのプランテーション栽培のため日本から移住されました。プレジデnte・エピタシオ市は、サンパウロ市から約600km離れた田園地帯にあり、市内をパラナ川が流れ観光地としても有名です。川のほとりでバーベキューをしたり、新鮮な川魚の刺身の味は今でも忘れられない思い出になっているとか。

大畑さんは7人兄弟ですが、一時は家族12人が一つ屋根の下で暮らし、みんなで助け合う心や老人を敬う気持ちが自然に培われたようです。また、広大な敷地の中では、マンゴー、グアバなどのトロピカルフルーツや柿、なし等の果物がたくさん採れ、ジャムを作ったり木に登って食べたりと豊かな自然の中で成長されました。

学校では、午前中はポルトガル語の授業を受け、午後は日本語学校で日本語や日本文化を学ばれ、家での会話も両国語を使われていました。「こういう環境で育ったことに、とても感謝しています。今では2カ国語が話せることは私の財産になっています。」と当時を振り返りながら話されました。

12年前に来日されましたが、当初はしばらくしたらブラジルへ戻られるつもりだったようです。でも、ご主人とめぐり合い、その後姫路へ。大畑さんは、「VIVA! ひめじ」のポルトガル語ボランティアとしても活躍されていますが、昨年は、県の子供多文化共生サポーターとして4つの小・中学校に勤務され現在は、太子町の中学校で、太子町教育委員会派遣サポーターをされています。仕事は、学校行事の翻訳や通訳・授業のサポート・悩み事の相談など多岐に渡っています。日本語が、わからず学校生活になじめない子や母国語を忘れてしまった子、不登校になった子などそれぞれに問題を抱えています。その中の数人が、「カポエイラ」を知っている事がわかり、それを通して自信を持ってもらいたいと、練習場や先生を捜し、支援団体の協力も得て、[カポエイラ]教室の開催にこぎつけられました。その間いろんな苦労があったようですが、徐々に習う人も増え、子供たちも母国語が話せたり、友達ができたりと良い交流の場になっています。

「カポエイラ」とは...?

ブラジルの格闘技ですが、音楽に合わせて皆で歌を歌い輪の中で二人向かい合って、まるで踊っているかのよう
に攻撃したり身かわしたりします。「カポエイラ」は、砂糖栽培のためアフリカから連れてこられ、自由を奪われ過酷な労働を強いられた黒人奴隷たちの自由を求め
る願いから生まれたのです。



大畑さんは、「小さなボランティア活動の一つとして始めましたが、大きな成果を得ることが出来ました。この輪が、もっと広がっていくことを願っています。毎週土曜日、姫路カトリック教会で練習していますので興味のある方は、お越し下さい。また、姫路国際交流フェスティバルでは、カポエイラの紹介をしますので、是非ご覧下さい。」と穏やかに話して下さいました。彼女のまいた小さな種が大きく花開くよう、みんなで手をつなごうではありませんか。

だい かいこくさいこうりゆうふえすていばる
第8回国際交流フェスティバル

にちじ へいせい ねん がつ にち にち
 日時:平成15年10月26日(日)10:00~15:00
 ばしよ ひめじおおてまえこうえん
 場所:姫路大手前公園

こうしゅうせんじゅうみん あぼりじにあーと ぶらじるかくとうぎ かほえいら せかいがっこう ぶんか りょうり あつ ことくさい
 豪州先住民のアボリジニアートに、ブラジル格闘技のカポエイラ。世界各国の文化、料理などが集まった国際
 交流フェスティバルが、いよいよ開催されます。会場となる大手前公園では、

各国の文化紹介などを通じて相互理解を深める**多文化共生ゾーン**

各国料理を味わったり、世界の遊びを体験したりできる**異文化交流ゾーン**

世界遺産・姫路城など、播磨を紹介する**姫路発信ゾーン**

の3エリアに分かれ、さまざまなイベントが行われます。一日で、まるで世界一周旅行をしたような得した気分
 が味わえる播磨最大の国際交流イベントです。みなさんふるってご参加ください。

多文化共生ゾーン

てーま かんきょう
 (テーマ:環境)

- * 子供達の為の多文化理解コーナー
- ・ 子供達の為の国際理解講座
- * 環境モニメント製作コーナー
- * 多文化共生サロン
- ・ 世界のお茶
- ・ 外国人の発表の場(歌、詩の朗読、文化紹介等)

異文化交流ゾーン

あそび
 遊ぶ
 ふれあ
 い
 体験
 たしけん

りょうり
 料理

- * 民族衣装試着 & 撮影(サリー、チョゴリ等)
- * 語学講座(英語、中国語、韓国語、イタリア語、トルコ語等)
- * 世界の占い
- * アボリジニアート
- * 国際電話、3分無料
- * ウォークラリー(チーム、または個人で、スタンプラリー)
- * お茶席コーナー
- * アイルランド * アルゼンチン * オーストラリア
- * カナダ * 韓国 * 北朝鮮 * ギリシャ * クウェート
- * タイ * 台湾 * 中国 * 日本 * バングラディッシュ
- * フィリピン * ブラジル * ペルー
- * モンゴル(全18カ国 23種類の料理)

すてーじぱおーまんす
ステージパフォーマンス

- * 各国の歌、踊り、演奏
- * 世界のファッションショー
- * インターネットミーティング

ひめじはっしん 姫路発信ゾーン

- * 地場産業
- * NGO展示販売
- * 海外進出企業
- * 外国料理ブース
- * 一般展示物販売

フェスティバルは今年で8回目を迎え、年を経るごとに規模も大きくなり、内容も充実してきました。しかしながら、まだまだ市民の認知度は低く、国際交流に関心のある人達だけのイベントになっているのが現状です。

市民中心の「国際交流フェスティバル実行委員会」の設立を契機に、内容もさらに充実させ、国際交流フェスティバルを、お城祭り・ゆかた祭りに次ぐお祭りにしていけたらと思っております。

(福永正彦実行委員長の抱負)

公営住宅の入居申込み

公営住宅とは、収入の少ない方向けに建設された賃貸住宅です。
 家賃は収入や住宅の立地条件により異なりますが、一般の賃貸住宅より比較的安い家賃で借りることができます。
 入居申込み者は次の条件をすべて満たさなければいけません。

- ・兵庫県内(市営住宅に入居希望の場合は姫路市内)に住んでいる、または勤務場所がある
- ・同居する親族がいる(夫婦・親子)
 単身または友人同士での入居はできません。
- ・現在、住むところに困っている
- ・入居予定家族全員の収入合計が **入居資格収入基準内** である
- ・連帯保証人のある方
 市営住宅に入居希望の場合、所得額150万円以上の保証人が2人必要



入居資格収入基準内: 政令月収が20万円以下

$$\text{政令月収} = (\text{年間総所得} - \text{扶養控除額} - \text{特別控除額}) \div 12$$

例1	夫 46歳 会社員	¥4,530,000	(給与収入額)
	妻 43歳 会社員	¥1,020,000	(給与収入額)
	子 17歳 高校生		
	子 12歳 小学生		
家族の年間所得金額			
夫	4,530,000円 ÷ 4,000 = 1,132.5 1,132円		
	1,132円 × 4,000 = 4,528,000円		
妻	1,020,000円 × 0.8 - 540,000円 = 3,082,400円		
	1,020,000円 - 650,000円 = 370,000円		
	夫+妻 = 3,452,400円		
控除			
同居親族控除	380,000円 × 3人 = 1,140,000円		
特定扶養親族控除	200,000円 × 1人 = 200,000円		
	合計 1,340,000円		
政令月収			
	(3,452,400円 - 1,340,000円) ÷ 12月 = 176,033円		

例2	夫 46歳 会社員	¥4,530,000	(給与収入額)
	妻 43歳 会社員	¥1,020,000	(給与収入額)
	子 17歳 高校生		
家族の年間所得金額			
夫	4,530,000円 ÷ 4,000 = 1,132.5 1,132円		
	1,132円 × 4,000 = 4,528,000円		
妻	4,528,000円 × 0.8 - 540,000円 = 3,082,400円		
	1,020,000円 - 650,000円 = 370,000円		
	夫+妻 = 3,452,400円		
控除			
同居親族控除	380,000円 × 2人 = 760,000円		
特定扶養親族控除	200,000円 × 1人 = 200,000円		
	合計 960,000円		
政令月収			
	(3,452,400円 - 960,000円) ÷ 12月 = 207,700円		

例2の場合、政令月収が20万円を超えるので、申込できません。
 姫路市には、このような方向けの賃貸住宅もありますが、申込は別になります。

募集

県営住宅

常時募集... 2ヶ月ごと(奇数月の10日から)に受付。

定期募集... 春と秋の年2回程度募集

募集時期については、県の広報誌「県民だより ひょうご」でお知らせします。

常時・定期募集に同時に申込できます。提出書類の有効期限は1回の募集のみ。

姫路市営住宅



県のマーク

常時募集・・・常時受付。希望住宅に空き部屋が出た場合、申込順に入居できます。

定期募集・・・3, 6, 9, 12月の1日～14日の平日に受付

公開抽選で当選した人が入居できます。

常時・定期募集の同時申込できません。提出書類の有効期限は提出日より1年。



市のマーク

提出書類

- 1) 入居申込書
- 2) 世帯全員の外国人登録原票記載事項証明書
- 3) 前年分所得証明
- 4) 健康保険証 など

その他、申込者の状況により
 在職証明・給与支払証明・家賃
 完納証明・退職証明などの提出
 も求められます

申込書配布場所

県営住宅：募集团地の所在市町、住宅供給公社（募集期間中）

住宅供給公社 播磨西事務所：姫路市北条1丁目9-8 兵庫県姫路総合庁舎5F

0792-89-0076

市営住宅：住宅管理課、各支所・出張所、サービスセンター、

駅前市役所スマイルステーション（山陽百貨店内）

住宅管理課：姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所5F 0792-21-2633

申込は住宅管理課のみ



公営住宅入居に関して

- ・ 入居手続きの際、敷金として家賃の3ヶ月分が必要です。
- ・ 入居後は、家賃のほかに共同施設の利用経費（電気・水道料金など）が必要です。
- ・ 住宅内でのペット類の飼育はできません。
- ・ 団地内での自動車の駐車はできません。団地外に車庫を確保してください。



< 快適な生活を送るために！！ >

入居後は各団地の自治会に入会し、居住者は自治会の規則に従わなければいけません。

自治会とは町内や団地内など同じ地域に住む人が、円滑な共同生活を送るために自分達で運営していく組織の事です。

周囲の人とトラブルになりやすい点として次のいくつかがあげられます。

- ・ 掃除・集金などの当番を守らない。
- ・ 収集日以外にゴミをだす。
- ・ 友人などを呼び、夜遅くまで騒ぐ。

ほとんどの自治会では定期的なミーティングを行い居住者全員で様々な取り決めをします。

共同施設の掃除、利用経費の集金などは、居住者が当番を決め順番に行います。

地域での新しい情報は、コミュニティールームに掲示、または各世帯に順番に回覧されます。

外国人の方にとっては、言葉の問題がありますが、積極的に地域の行事に参加してください。

§ 知っていますか？ 雇用促進住宅

公共職業安定所の紹介により就職した方や、転勤等により住居の移転を余儀なくされた方のための賃貸住宅です。一年以上働いていることが条件です。

家賃は物件により異なりますが、姫路市内に数カ所建てられている住宅で、1.3～4万円程度です。

問い合わせ：雇用振興協会 大阪支所 06-6264-5393

〒541-0054 大阪府中央区南本町1-7-15 明治生命堺筋本町ビル 12

お知らせ

イベント情報

～伝統芸能の無料見学会、「こころの祭り」に参加しませんか?～

姫路市在住で様々なジャンル(伝統工芸・陶芸・音楽・書道・茶道など)で活躍されている方々のご自宅、工房、職場や建物を1年に1度、無料で見学出来ます。身近な所で、素敵な出会いがあるかも知れません。

・日時：11月11日(火)午前10時～午後4時

・ガイドマップ：姫路市市政情報センターほか各支所・出張所・市民センター・サービスセンター・市民会館などにあります。

・詳細は姫路市文化振興財団のホームページ<http://www3.ocn.ne.jp/~hcpf/>で御覧ください。

国際交流センター図書コーナーより

～日本の歴史書を読んでみませんか?～

・五輪書「The book of five rings」

宮本武蔵が、門人および後世の人々のために書き残した不朽の名著の英訳決定版。

・宮本武蔵「Musashi」

アメリカの「風と共に去りぬ」に匹敵する日本の代表的小説と評された吉川英治の名著、「宮本武蔵」を完全英訳。

・新書太閤記「Taiko」

天性の才智と人並み外れた努力で貧農の家に生まれながら天下を極めた英傑、豊臣秀吉の物語。

平成15年度在任外国人のための日本語講座(後期)

・対象者：地域在住外国人の方。主に初級の方対象です。

・期間：平成15年9月～平成16年3月(水・木)レベル別で全4クラス、週1回で25回

・場所：姫路市国際交流センター ・費用：6000円+テキスト代

・その他：既に9月17・18日から開講していますが、受講希望の方はお問い合わせ下さい。(電話 0792(87)0820)

*****編集後記*****

スタッフに2人の外国人メンバーを迎え、ますます活躍の場を広げて行きたいと思っております。

次回「VIVA ひめじ NO.7」は、12月中旬の発行予定です。お楽しみに。

翻訳・ネイティブチェックのお手伝いをして頂いた方
英語：花畑垂矢子、保坂裕子、志賀恭子、市原理瑠、野崎敬子、

Jenifer Krasnoff

中国語：山成広子、王志勤、原由佳、周江寿、リュウロイ

ポルトガル語：大畑えい子

ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ、ご意見・ご感想は、下記の(財)姫路市国際交流協会まで

連絡先

(財)姫路市国際交流協会 Himeji International Association

〒670-0012 姫路市本町68-290 イーグレひめじ3階

TEL : 0792-87-0820 FAX : 0792-87-0805 mailto:

kokusai@city.himeji.hyogo.jp